

「感染しない」「感染させない」を合言葉に  
**コロナに負けないぞ!**

有田史談会 月例通信

事務局 中村貞光

090-4740-4752

## 坂井会長からのメッセージ♪



■ 蒸し暑い日が続いていますが如何お過ごしでしょうか。皆様の手元に会報7月増刊号が届きお読み頂いたことと思います。

栗山さんの「有田の六地蔵」をはじめ、もうすぐ米寿を迎えられる吉永さんの「目からウロコ」など、自分自身で歩き頭で考えたものを文章にされていて、感激して読ませて頂きました。それに比べると私の文章は恥ずかしい限りです。次回は来年2月発行とのこと、皆様の投稿を楽しみにしております。

さて、東京オリンピックが始まりました。選手が自国の期待を一心に背負ってプレイされているのを見ていると、こちらも若返り勇気をもらいます。海外の選手との姉妹都市提携をしておられる県では、コロナ禍にもかかわらず色々工夫をされ国際親善を果たされているのを見て頭が下がります。東京オリンピックが成功裏に終わることを祈念するばかりです。終了後のコロナウイルスの拡大が心配されますが、佐賀県および有田地区はワクチン接種率が75%に達しており、年末には待望の大橋先生の特別講座が開催できるのではと期待しています。

坂井勝也

■ 5月～7月に発表された県内のコロナ感染者を年代別に集計してみました。

	～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～
7月	18	11	20	7	12	8	2
6月	5	9	10	6	8	6	11
5月	127	225	126	124	106	100	149

ワクチン接種が進み高齢者の感染が抑えられていることが解りますが、接種が遅れている若い世代への感染拡大が心配です。ワクチンの供給が順調に進み、一日でも早く感染が収束に向かうことを願うばかりです。

## 事務局の独り言(▽▽)

■ 会報7月増刊号への投稿有難うございました。例年2月に発行している年1回の会報だけでも大変なのに、臨時増刊号?の発行にも拘わらず、皆様にはより一層のご協力を頂き心より感謝申し上げます。

今回は伊良皆さんから最初にお礼のメッセージを頂きました。事務局は淡々と事務的に作業を行っているものの、皆様からの返信や心のこもった温かいメッセージは一番嬉しいもので、それなりの苦勞も伴いますが何よりの癒しになります。

さて、暑さもこれからが本番。巣ごもりが続きますが、冷やし過ぎないようにエアコンの温度調整をしっかりと行いながら夏バテ防止に努めましょう。

運動不足解消には早朝のウォーキングがお勧めです。今の時期は夜明けが早いのでチャレンジしては如何でしょうか。私は夫婦で5時半頃に自宅を出発して、約一時間くらいのウォーキングを行っています。普段からウォーキングを実践していても、最近では年々足腰が弱ってきているのを実感しているの、雨の日以外は出来るだけ歩くくよう心掛けています。

■ 有田の盆は旧盆で7月に終わりましたが、皆様の地区で精霊送り(精霊流し)は行われていますか? 精霊流しの風習は長崎県を中心に九州北部で現在でも行われているようです。佐賀市久保田町では地元の精霊流し実行委員会が主催し、嘉瀬川で大小の精霊船が流され、故人を偲ぶ伝統的な風習が大きなイベントになっているようです。

私の幼い頃は仏壇に供えた供物を川に流していたのを記憶していますが、最近では環境への配慮から川に流すのを取り止めています。私の地区では、墓地のそばに穴を掘り、供物を供えたあと土を被せ埋め戻しています。隣の地区では埋め戻した供物が小動物により掘り返されることがあり数年前から中止になっています。昔から伝わる風習も時代と共に消えていくのは寂しい気がします。 ※嘉瀬川で行われている精霊流し

